

県内百貨店・主要小売店3月実績

●百貨店	売上高		客数
岐阜高島屋	6.2		▲4.3
●小売店	売上高		客数
	全店	既存店	
バロー	2.6	2.1	▲0.9
Vドラッグ	6.2	1.3	0.4
ホームセンターバロー	4.4	3.2	▲3.3
セリア	1.2	▲3.9	▲3.7
ヒマラヤ	▲1.0	▲0.3	▲5.9

※数字は前年同月比の増減率。▲はマイナス。Vドラッグは中部薬品など5社の合計。ホームセンターバローはホームセンターバローなど3社の合計

県内に拠点を置く百貨店・主要小売店の3月上高実績（速報値、小売店は全店売上高）は、6社中5社が前年同月を上回った。バローは生鮮の売れ行きが好調だったほか、客が目的を持って来店する店づくりをした既存店が伸び、全体を押し上げた。Vドラッグは調剤の売り上げが好調で、受診控えが目立った前年同月からの反動もあり、客数は6社のうち唯一、前年同月を上回った。



3月の百貨店・小売店売上高 5社が前年を上回る

岐阜高島屋は生鮮など食料品の伸びが大きかった。コロナ禍で低調だった婦人服や紳士服は、春物需要の取り込みで成功し、回復基調にある。担当者は「ホワイトデー直前の週末には、洋菓子の売り場付近に多くの男性客の姿があった。曜日の巡り合わせにも恵まれた」と話す。セリアは売り上げは伸びたが、客数は5カ月連続で前年を下回った。担当者は「コロナ禍の巣ごもり需要が剥落してきたのではないかと分析する。ヒマラヤは2カ月連続で売上高、客数ともに前年実績を下回った。